

IV-7 子育て意識の変遷と子育てに関する意識の比較

本調査では、区民及び区内の子育て関係施設従事者に対して、あわせて7種類のアンケート（就学前児童家庭、小学校児童家庭、中学生、高校生、独身及び子どものいない世帯、子育て中及び子育て終了世帯、子育て関係施設従事者）を実施している。その中では、練馬区での次世代育成支援のあり方を検討する際の資料として、①子育てについての意識の変遷は見られるか、②区民間、区民と施設従事者との間に子育てに関する意識の差が見られるかなどについて分析を行った。

以下にその概要を整理する。

1. 子育て意識の変遷について

①子どものことでの心配、気になることの意識

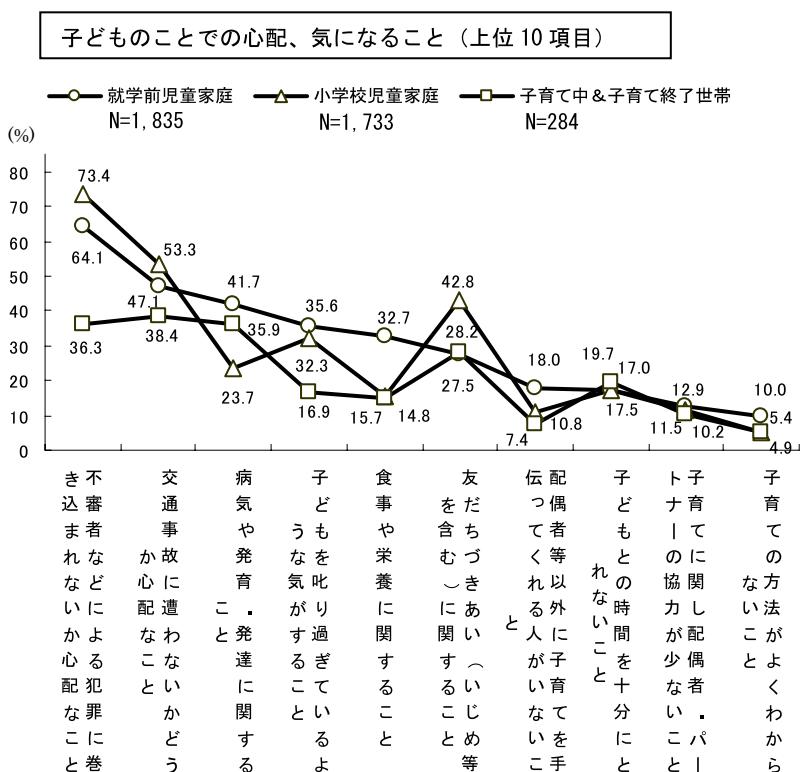
就学前児童家庭：(問25) あなたが子どものことで心配に感じていること、気になっていることは、どのようなことですか。

小学校児童家庭：(問26) あなたが子どものことで心配に感じていること、気になっていることは、どのようなことですか。

子育て中及び子育て終了世帯：(問9) あなたが、これまでに、子どものことで心配に感じたり、気になったりしたのはどのようなことですか。

子どものことでの心配、気になることについては、いずれの子育て家庭でも「不審者などによる犯罪に巻き込まれないか心配なこと」「交通事故に遭わないかどうか心配なこと」など安全・安心に関する心配が中心で、小学校児童家庭では特に多くなっている。

また小学校児童家庭では、最近あらためて注目されている「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関するここと」についても多くなっており、特に「いじめ」の問題が重要視されてきていることが分かる。



②結婚や子育てに関する考え方の意識

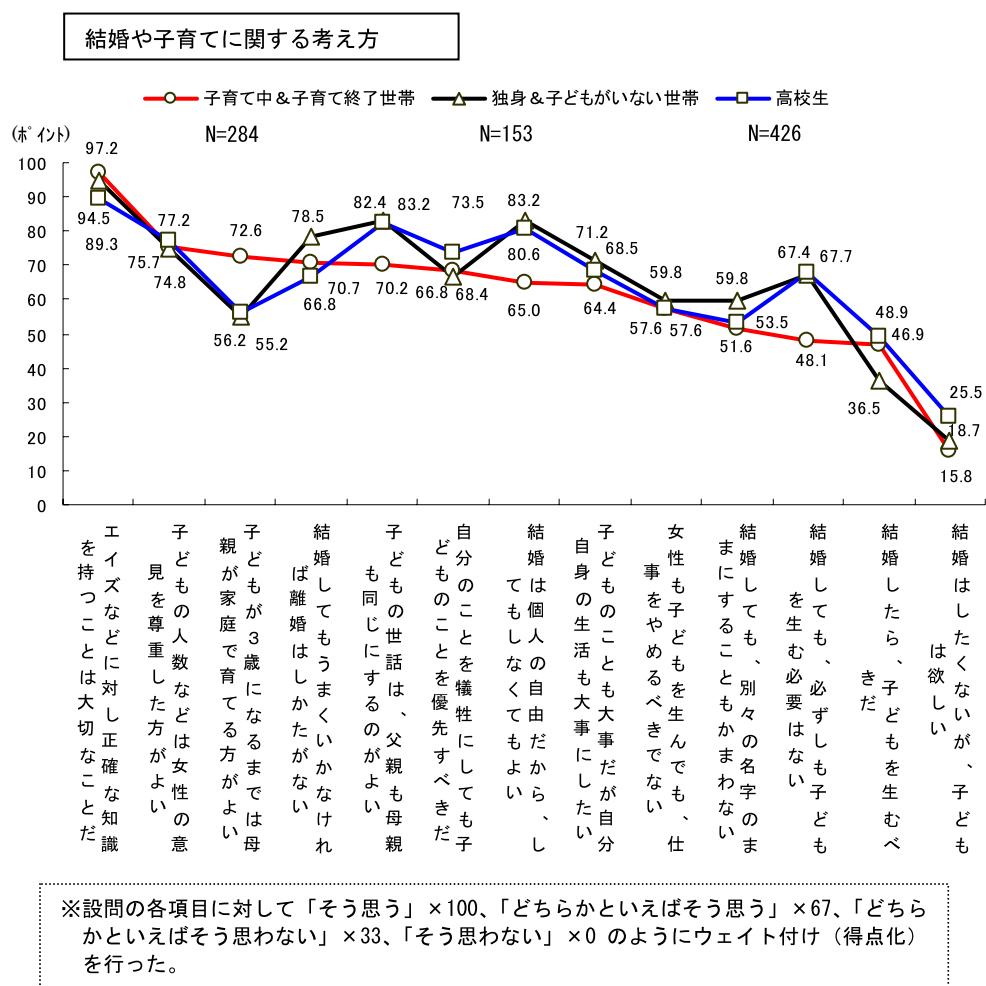
高校生：(問 15) あなたは次のような考え方について、どう思いますか。

独身及び子どものいない世帯：(問 11) 結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。

子育て中及び子育て終了世帯：(問 13) 結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。

結婚や子育てに関する考え方については、全体的に独身及び子どもがいない世帯と高校生がほぼ同様の考え方を持ち、「個人の自由」に対する認識が強くなっている。

ただし、「結婚したら、子どもを生むべきだ」については子育て中及び子育て終了世帯と高校生とがほぼ同意見になっている。



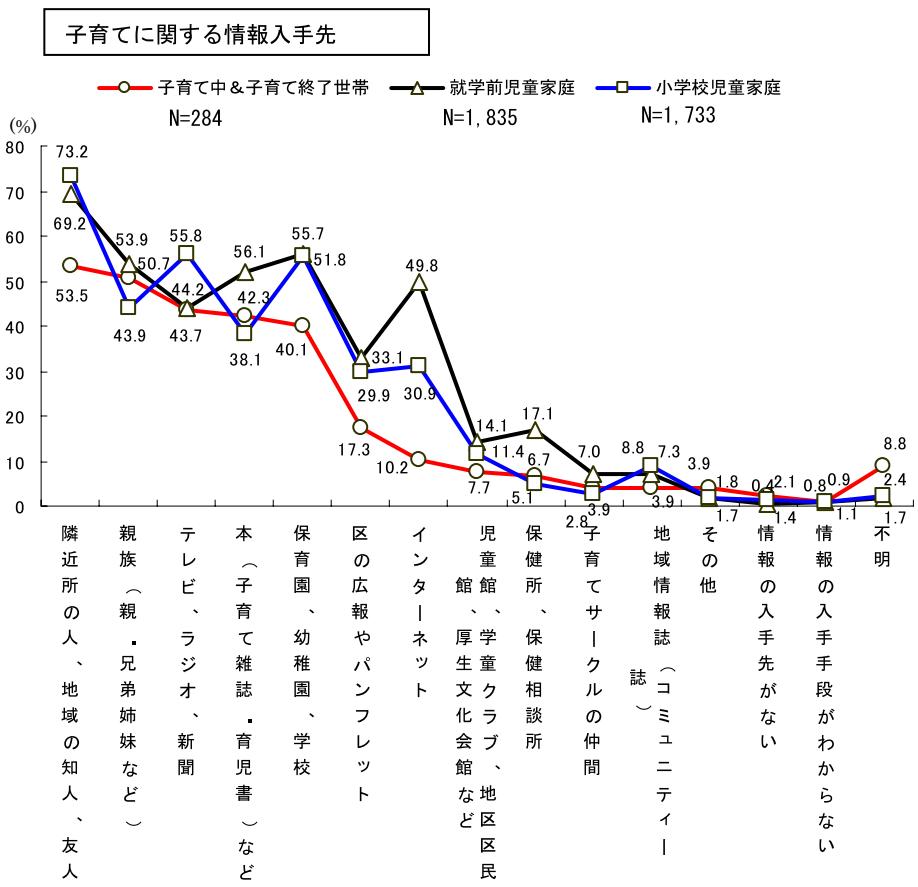
③子育てに関する情報入手先の意識

就学前児童家庭：(問 43) あなたは子育てに関する情報を、どのようにして入手していますか。

小学校児童家庭：(問 39) あなたは子育てに関する情報を、どこから入手していますか。

子育て中及び子育て終了世帯：(問 11) あなたは子育てに関する情報を、どこから入手されていましたか。

子育てに関する情報入手先については、いずれも「隣近所の人、地域の知人、友人」が最も多く、子育て中および子育て終了世帯では「親族（親・兄弟姉妹など）」や「テレビ、ラジオ、新聞」、小学校児童家庭では「テレビ、ラジオ、新聞」、就学前児童家庭では「保育園、幼稚園、学校」や「インターネット」も多い。



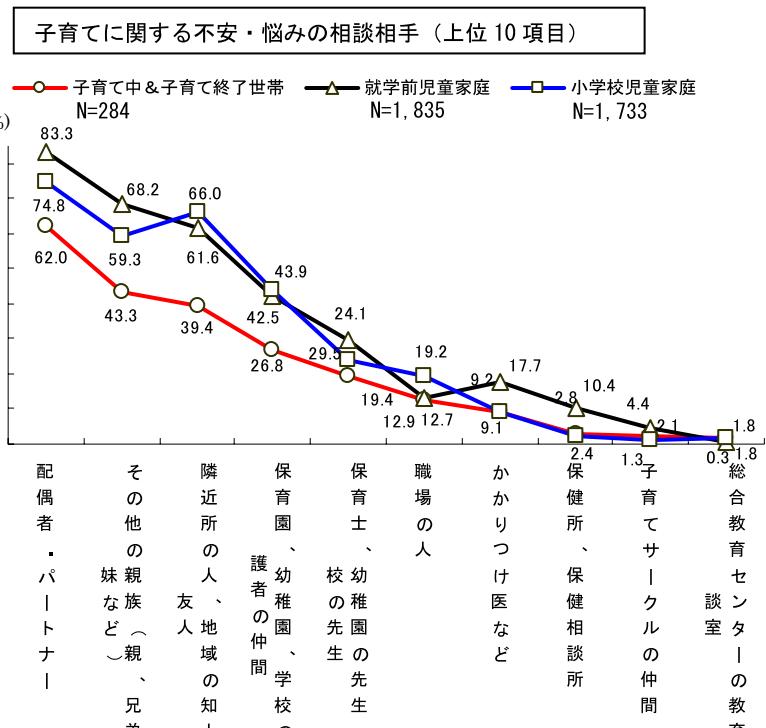
④子育てに関する不安・悩みの相談相手の意識

就学前児童家庭：(問37) あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談できるのは誰ですか。

小学校児童家庭：(問28) あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談できるのは誰ですか。

子育て中及び子育て終了世帯：(問12) あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談していたのは誰ですか。

子育てに関する不安・悩みの相談相手については、いずれの子育て家庭でも「配偶者・パートナー」であるが、小学校児童家庭では「隣近所の人、地域の知人、友人」も多い。



2. 子育てに関する意識の比較について

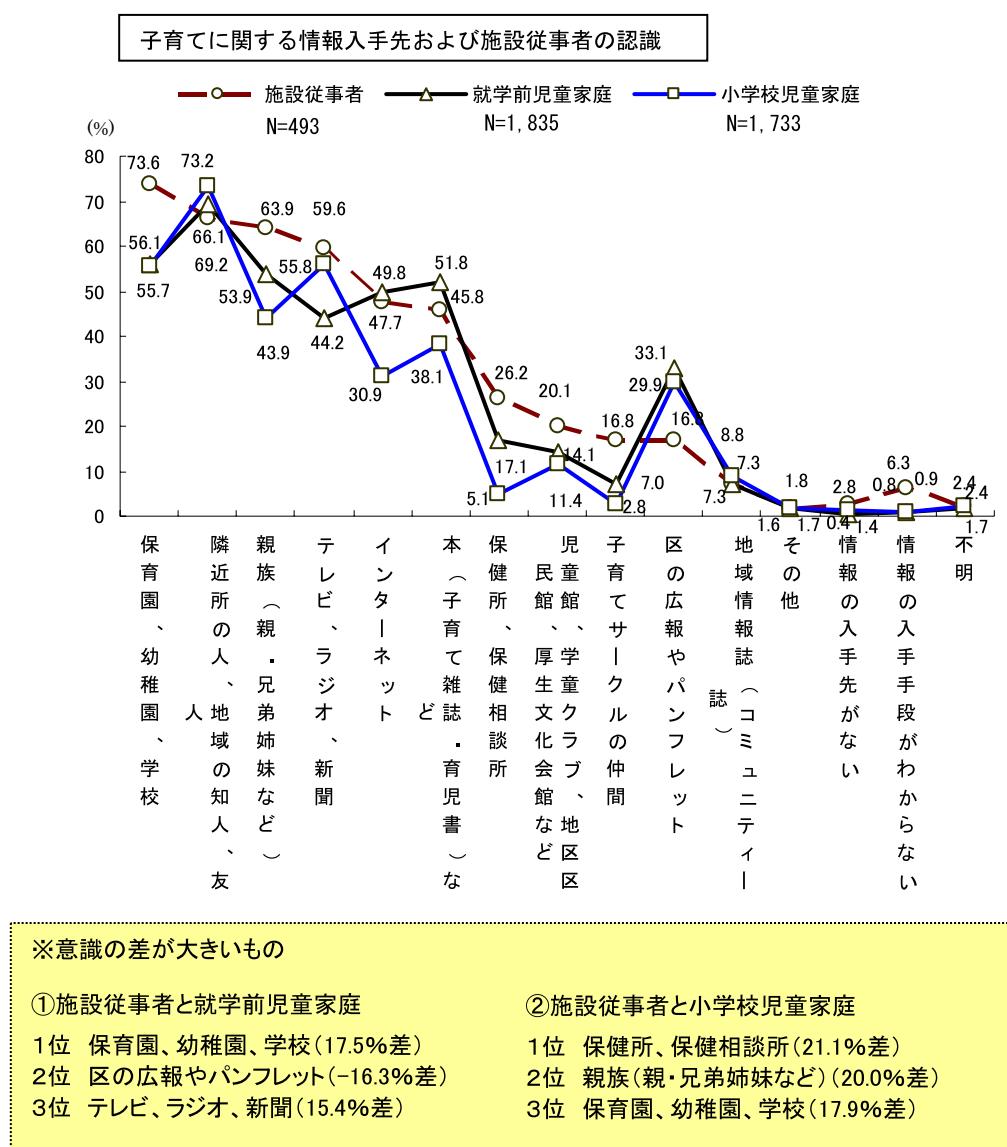
①子育てに関する情報入手先についての意識の比較

就学前児童家庭：(問43) あなたは子育てに関する情報を、どのようにして入手していますか。

小学校児童家庭：(問39) あなたは子育てに関する情報を、どこから入手していますか。

子育て関係施設従事者：(問6) あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていると思いますか。

子育てに関する情報入手先については、施設従事者が主に「保育園、幼稚園、学校」という認識を持っている一方、就学前児童家庭および小学校児童家庭では「隣近所の人、地域の知人、友人」から最も情報を得ていると回答している。



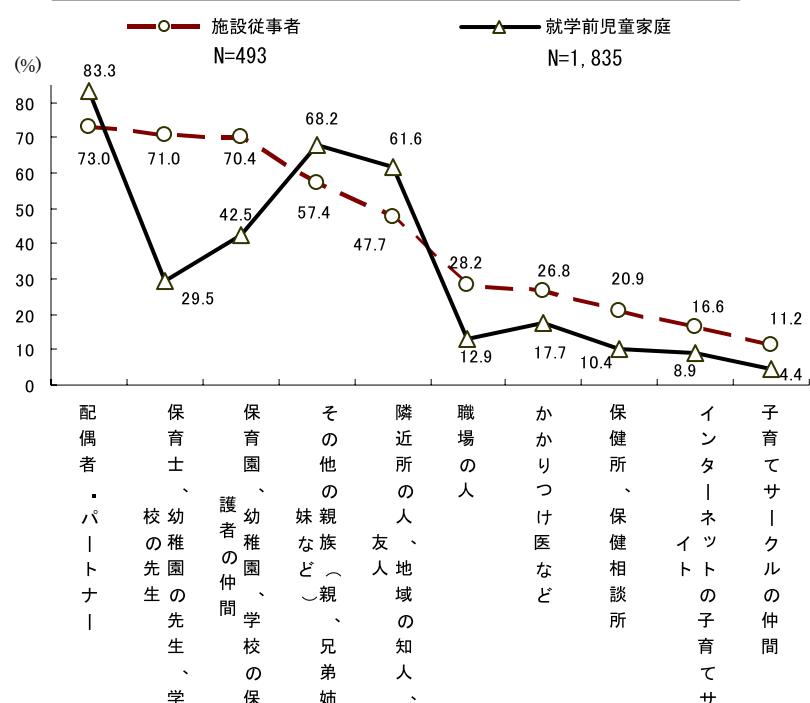
②子育てに関する不安・悩みの相談相手についての意識の比較

就学前児童家庭：(問44) あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談できるのは誰ですか。

子育て関係施設従事者：(問7) あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する悩みや不安などをどこに相談されていると思いますか。

子育てに関する不安・悩みの相談相手については、いずれも「配偶者・パートナー」が最も多く、施設従事者が自分が関わっている子どもの家庭では「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」や「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」という認識を持っている一方、就学前児童家庭では「配偶者・パートナー」以外には「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」「隣近所の人、地域の知人、友人」などに相談している。

子育てに関する不安・悩みの相談相手および施設従事者の認識



※意識の差が大きいもの

施設従事者と就学前児童家庭

- 1位 保育士・幼稚園の先生、学校の先生(41.5%差)
- 2位 保育園・幼稚園・学校の保護者の仲間(27.9%差)
- 3位 職場の人(15.3%差)

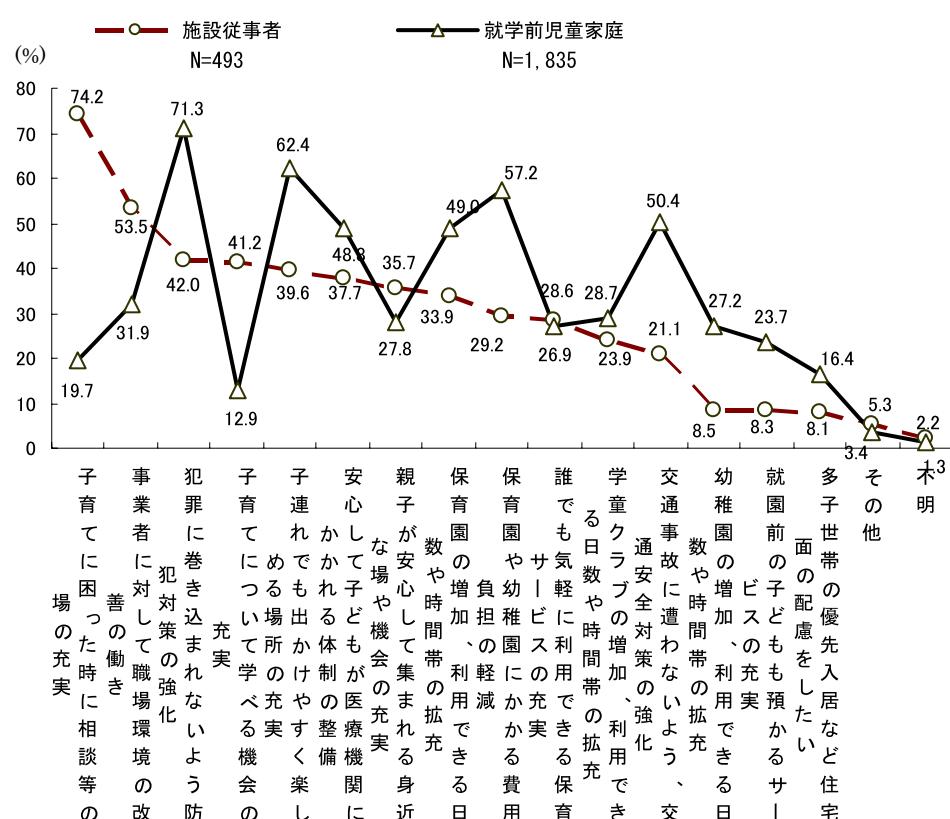
③子育て支援要望 vs 行政が力を入れていくといいと思う子育て支援内容についての意識の比較

就学前児童家庭：(問 51) あなたは親と子が健やかに育ち合うようにするために、子育て支援施策に対して、行政としてどこに力を入れていくといいと思いますか。

子育て関係施設従事者：(問 15) 親と子が健やかに育ち合うようにするために、あなたは「子育て支援者」として、行政はどこに力を入れていくといいと思いますか。

就学前児童家庭が要望する子育て支援サービスと、施設従事者が力を入れていくといいと思う子育て支援サービスについては、施設従事者が「子育てに困った時に相談等の場の充実」や「事業者に対して職場環境の改善の働き」と認識している一方、就学前児童家庭では「犯罪に巻き込まれないよう防犯対策の強化」や「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」そして「保育園や幼稚園にかかる費用負担の軽減」などとなっている。

子育て支援要望 vs 行政が力を入れていくといいと思う子育て支援内容



※意識の差が大きいもの（上位5位まで）

施設従事者と就学前児童家庭

1位 子育てに困った時に相談したりする場を作りたい	54.5%差
2位 犯罪に巻き込まれないよう防犯対策の強化	-29.3%差
2位 交通事故に遭わないよう、交通安全対策の強化	-29.3%差
4位 子育てについて学べる機会の充実	28.3%差
5位 保育園や幼稚園にかかる費用負担の軽減	-28.0%差

3. 仕事と子育てとの両立意識の比較について

○仕事と子育てとの両立での問題についての意識の比較

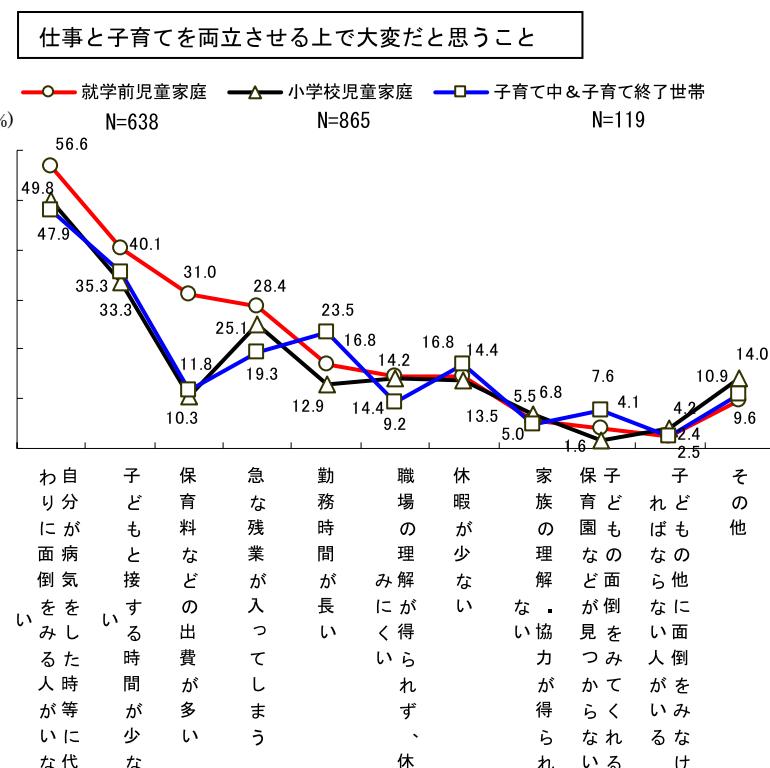
就学前児童家庭：(問27) あなたが仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは、どのようなことですか。

小学校児童家庭：(問28) あなたが仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは、どのようなことですか。

子育て中及び子育て終了世帯：(問10) あなたが仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることはどのようなことですか。

仕事と子育てとの両立での問題については、いずれも「自分が病気をした時等に代わりに面倒を見る人がいない」が最も多く、特に就学前児童家庭で多くなっている。

また就学前児童家庭では、小学校児童家庭や子育て中及び子育て終了世帯と比べて、「保育料などの出費が多い」が悩みになっている。



4. ボランティア意識の比較について

○参加したいと思うボランティア活動についての意識の比較

独身及び子どものいない世帯：(問 18) あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。

子育て中及び子育て終了世帯：(問 20) あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。

高校生：(問 25) あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。

参加したいと思うボランティア活動については、いずれも「環境を守る活動」が最も多い。

また「子育てに関する活動」については、「子育て中及び子育て終了世帯」より「高校生」で多くなっている。

